

手動式ゲートのみだと…



大雨の時に閉めに行くのが危険！

閉め遅れ

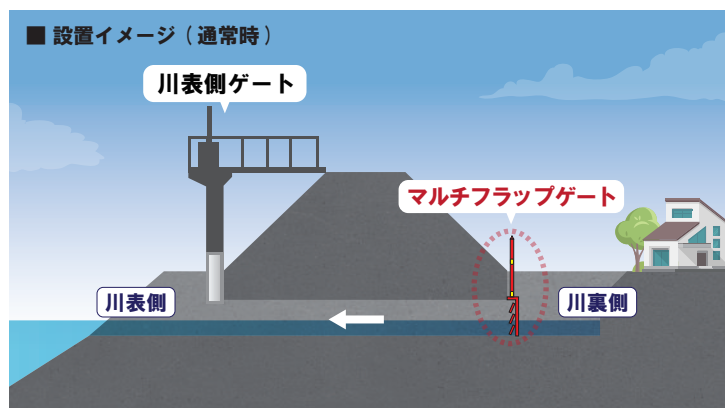
操作ミス

自動ゲートの改修費用がない！

高齢化！

浸水で訴訟問題！

マルチフラップゲートを設置すると…



簡単に防災機能をもたせることができる！



施工要領



I. 【削孔】

拡張式アンカーを打込むための位置を決め、ハンマードリルで削孔します。



II. 【外枠取付】

拡張式アンカーを打込み、外枠を取付けます。



III. 【本体組立】

ボルト・ナットを使って下段から扉体を順番に取付け、最後に天板を取付けます。



IV. 【量水標取付】

天板に固定と量水標補強材の取付けできたら設置完了です。



株式会社 DOVOX

(株)DOVOXは(株)中大のグループ企業です。

- 本社 〒060-0009 札幌市中央区北9条西24丁目3-15 中大ビル TEL 011-624-0455
- 東京支店 〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル1038 TEL 03-6811-3283

YouTube
にて動画公開中!!



マルチフラップゲート

※ 性能向上のため、掲載されている製品の仕様等を予告なく変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。詳しい使用方法についてはお問い合わせください。



無動力減災ゲート「マルチフラップゲート」

災害対策をもっと簡単に！ 川裏側に設置する新しい無動力ゲート

樋門や樋管に設置されているゲートの管理は、大雨が降る度に昼夜関係なく人力で操作していました。昨今では管理人を不要とする無動力自動開閉ゲートも登場していますが、大規模工事が必要で採用が困難なケースもありました。災害対策が急がれる今、従来のゲートはそのままに、新しく川裏側に低コストで簡単に設置できるのが、『無動力減災ゲート(マルチフラップゲート)』です。

洪水痕跡機能

大雨の時の最大水位でフロートが停止します。安全な時に水位を確認することができます。

量水標機能

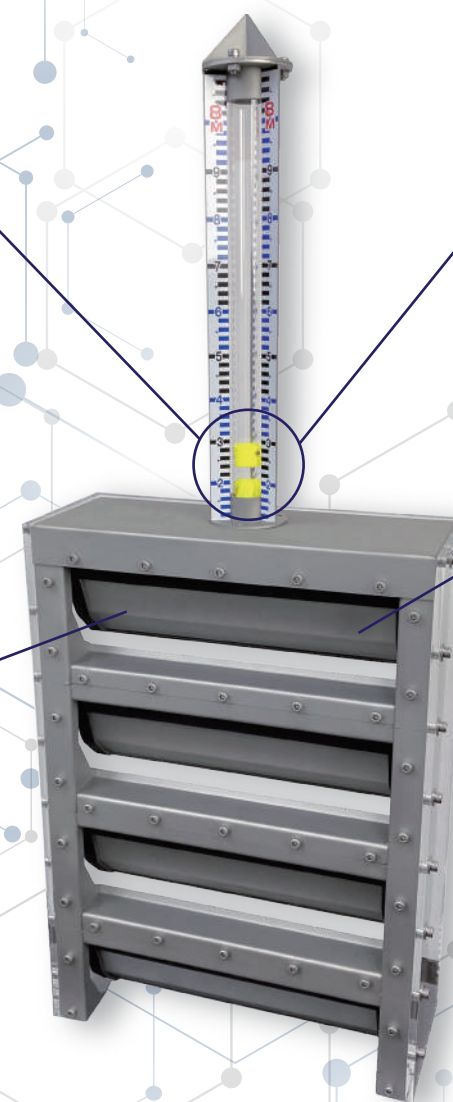
河川のリアルタイムの水位を計測することができます。

フラップゲート

ゲートをフラップにすることでゲートの開閉作業を不要としています。通常時は開いているので水の流れを阻害しません。

多段式ゲート

ゲートが複数になっていて軽量なので、現場施工時のクレーン等は不要で人力のみで施工可能です。



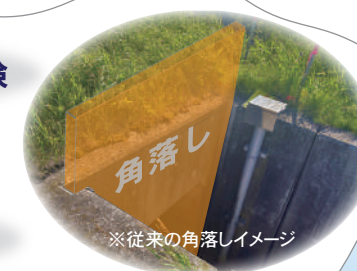
従来の角落し板では…

大雨のときに持っていくのは危険



保管場所に困る

設置に手間がかかる



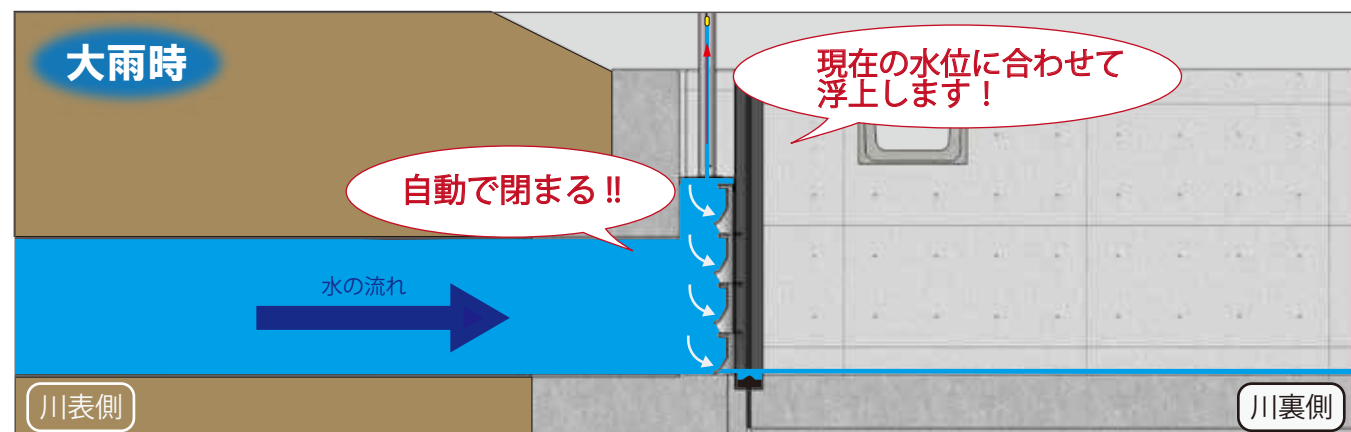
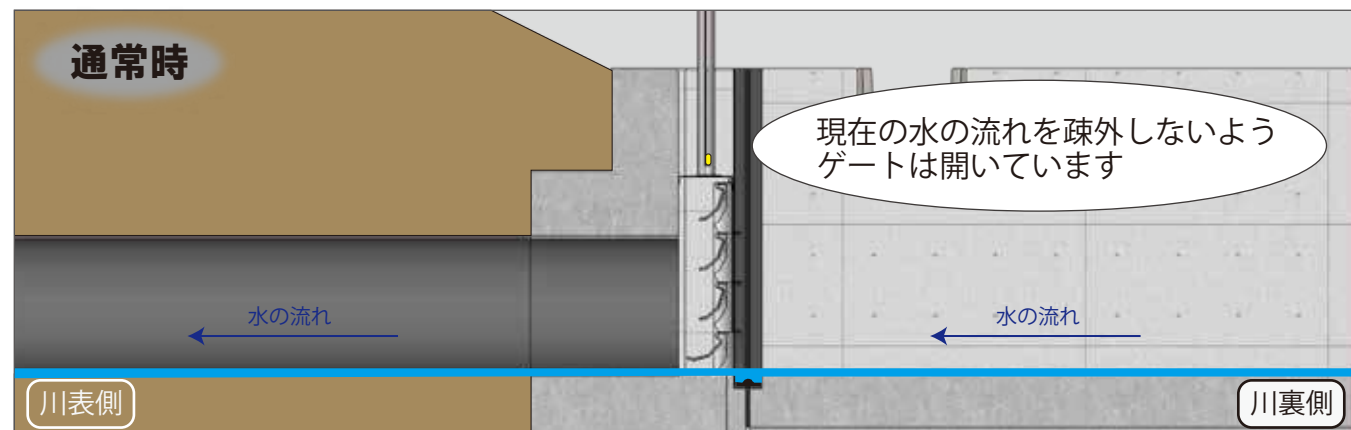
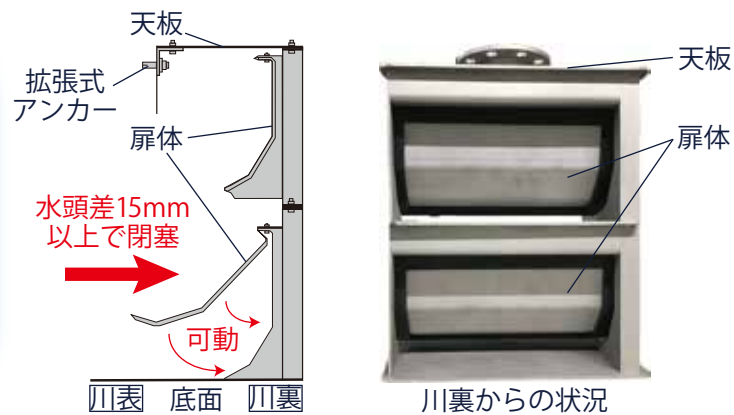
マルチフラップゲートがあれば緊急時も安心！



DOVOX Inc.

ゲート構造

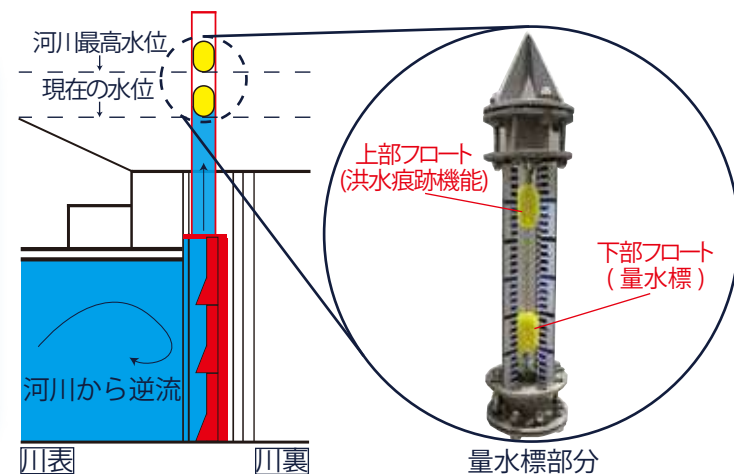
- ・通常時は開放されているため、水の流れを阻害しません。
- ・水害時は水頭差 15mm 以上を受けることで扉体が可動して閉塞します。
- ・底面に戸当たりがなく、砂や泥が滞留しにくい構造です。



- ※ ゴミや木の枝など多く流れてくる懸念がある現場についてはスクリーンの設置を推奨しております。
- ※ スクリーンも取り扱っておりますので、詳細については担当者にお問合せください。
- ※ 扉体に泥が溜まり過ぎると閉まらなくなってしまうので、適切な維持管理をお願いいたします。

量水標構造

- ・パイプ内には2種類のフロートが搭載されています。
- ⇒ 上部フロートは洪水痕跡機能を搭載しています。
- ⇒ 下部フロートは現在の水位を観測できます。
- ・サイフォンの原理を利用し動作します。
- ※ 川表側のゲートを操作した場合は、量水標は機能しません。



施工実績

■ 2023年 北海道滝川市（発注：北海道 札幌建設管理部） 計1基



施工中



設置完了

■ 2024年 愛知県安城市（発注：安城市役所） 計2基



施工前



設置完了（1基目）



納品時



製品枠設置完了



製品角落し部分



設置完了（2基目）